

要 請 書

2017年4月3日

佐賀県議会議長 中倉政義 様  
佐賀県議会議員各位

要望事項

玄海原発 3, 4 号機の再稼働については、県民の理解は得られているとは思われず、短期間の審議で再稼働の是非についての議決をされることのないよう、強く要望します。議会としても十分な調査検討と何らかの方法での県民意見の聴取を行って下さい。

県による「広く意見を聴く委員会」、県内 5 か所での「県民説明会」、GM21 ミーティングなどでは、原発再稼働についての疑念や反対が多く表明されました。特に、一般県民が参加した「県民説明会」における県民の発言のほとんどが反対の意見でした。これらのことは、原発再稼働についての県民多数の理解とは程遠い状況にあることを示しています。

このような状況で、二元代表制の一方の主体である県議会が急な決定をされれば、原発稼働という県民の生命・財産を脅かしかねないプロセスに手を貸す恐れがあるだけでなく、地方自治のあり方としても大きな禍根を残すこととなります。急な議決は是非とも避けて頂くようお願いいたします。

(参考) 行政による説明、意見聴取の結果など

GM21 ミーティングでは伊万里市長、神埼市長、嬉野市長の 3 人が反対され、8 人が容認、9 人が賛否を明確にされていません (30 キロ圏内にある長崎県壱岐市長は反対意見)。

「広く意見を聴く委員会」では、JA からつ組合長、JA 伊万里組合長、県看護協会会長、県労連議長、県介護老人保健施設協会会長、県平和運動センター事務局長、県地域婦人連絡協議会会長の 7 人が反対意見です。賛成・容認は 10 人、その他の意見は 9 人です。

県内 5 か所で開かれた県民説明会では質問、疑問、要望、反対意見が多数出されました。福岡県や長崎県でも反対意見が多かったようです。また 23 日、30 キロ圏内の長崎県平戸市議会は、全会一致で「玄海原発の再稼働に反対する意見書」を可決しています。

玄海原発対策住民会議 (藤浦皓会長)  
玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 (石丸初美代表)  
玄海原発反対からつ事務所 (北川浩一代表)  
原発を考える鳥栖の会 (野中宏樹代表)  
原発なくそう!九州玄海訴訟原告団 (長谷川照原告団長)  
佐賀県原発問題対策協議会 (河西龍太郎会長)  
さよなら原発 1000 万人アクション佐賀県実行委員会 (原口郁哉委員長)  
さよなら原発!佐賀連絡会 (豊島耕一代表)  
プルサーマルと佐賀県の 100 年を考える会 (野中宏樹共同世話人)

連絡先

脱原発佐賀ネットワーク世話人

豊島耕一

TEL: xxx-xxxx-xxxx